2024年3月1日

装置メーカーの皆様

公益社団法人　高分子学会

会長　伊藤耕三

コンテンツ・HP委員会

委員長　増渕雄一

高分子学会 教育企画『高分子分析・計算科学の原理・技術と装置メーカーリスト』

機器/ソフトウェア等情報掲載への新規募集のご案内

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

2021年4月に開設しました高分子学会の教育企画「[高分子分析・計算科学の原理・技術と装置メーカーリスト](https://www.spsj.or.jp/equipment/)」では、広告掲載や情報提供など様々なご協力を賜り、心より御礼申し上げます。2024年度も新規掲載のお申込みを承りますので、ご検討を頂きたく、広告掲載の特徴と開設後のアクセス状況（P. 2）についてご報告いたします。2024年度より、新たに**計算科学**も加わります。参考まで、高分子学会ファミリーサイト「高分子分析・計算科学の原理・技術と装置メーカーリスト」の趣旨を下記に紹介いたします。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

【趣旨】高分子は身の回りの製品から最先端材料まで幅広く利用されており、企業や大学、研究機関などでも精力的に研究開発が進められています。高分子に関連する研究では様々な分析方法や計算科学の手法が利用されており、それらに関する成書も出版されています。しかし、インターネットの普及に伴い、ネット検索により簡単に情報を得たいというご要望も増えてきました。そこで、高分子を専門にしている研究者だけではなく、専門外の研究者や技術者、さらには学生にも初歩的に理解できる高分子分析及び計算科学の原理・技術に関する教育的サイトを開設しました。加えて、各分析法・計算科学の原理や技術に関する情報だけではなく、実際の装置やソフトウェア / ツールのメーカー、ベンダーなども紹介し、具体的な装置の情報やプロトコルなどの有用な情報を直接的に得られるサイトに設計しています。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）に装置（メーカー名）掲載を新規で希望される場合には、お手数ですが「【新規】** **装置（メーカー名）掲載申込書」（P. 5）に必要事項を記入し、下記連絡先までE-mailでお送り下さい。**

その他、ご不明な点等ございましたら、下記連絡先までお問合せください。

高分子に関連する研究開発をサポートし、この分野を発展させるために、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

【連絡先】　公益社団法人高分子学会

コンテンツ・HP担当　Email: ict@spsj.or.jp

敬具

1. 学会HP 教育企画『高分子分析・計算科学の原理・技術と装置メーカーリスト』の特徴

1. 高分子分析及びや計算科学の基礎から装置メーカー、ソフトウェア/ツール/ソリューションベンダーまで、約40種類以上の情報が満載
2. 高分子関連の一流の研究者が分析法、計算科学手法の原理・技術を簡単に説明（P. 8 参考資料1）

・専門家だけではなく、専門外の研究者・技術者や学生でも理解できる教育的内容

・具体的な分析例やプロトコルなどの掲載も可能（研究者や装置メーカーから募集）

1. 各分析**やソフトウェア/ツール/ソリューション**のメーカー、ベンダーなどの装置情報を簡単に入手可能
2. 科研費などの研究費申請に際して有益な情報を提供

・科研申請時期など年間数回、10,000を超える高分子学会員にメール配信

1. 高分子学会ホームページトップからアクセスしやすいページ設計
2. 有償広告の掲載と各メーカー、ベンダーサイトへの直接リンクを実現
3. 有償広告掲載では、画像バナーにより各装置の特徴やアピールが可能
4. サイト閲覧者が質問ボックスに記入でき、有償広告掲載メーカー、ベンダーは直接的な営業可能
5. 会員割引および掲載分析法の件数に応じた割引制度を実施（P. 4　年間掲載料金参照）
6. 分類の階層化により、目的に応じて分析装置や装置メーカー、計算科学のソフトウェア/ツール/ソリューションベンダーが探しやすい便利なページ設計

・分類の階層化： 分析法・計算科学手法 ▷ 分析法・計算科学手法一覧 ▷ 装置（▷ 各メーカー、ベンダーサイト）（どこからでも検索可能）

1. 学会三大行事の展示サイトから相互リンクによりアクセス数の増加（2022年度開始）

2. アクセス状況などの情報

1. アクセス状況（2023年1月～12月）※2023年7月よりGoogleアナリティクスGA4バージョンにて集計
   * セッション数（訪問数）：**391，133件**
   * ユニークユーザー数（アクセス数）：**319,408件**
   * ページビュー数（閲覧数）：**414,858pv**
2. アクセス情報の分析
   * Google検索「高分子分析」ではトップに表示
   * 検索サイト経由で**95.5%**が来訪。→幅広い分野の閲覧者
   * サイト公開以来、セッション数：857,480件、ページビュー数（閲覧数）1,015,341pv、閲覧者が増加→宣伝効果大
   * 科研申請時期など定期的に学会員へのメール配信時にページビュー数が急増→装置購入を検討している研究者への情報提供

【分析法一覧】

1. X線光電子分光法(XPS)
2. X線散乱法・X線回折法
3. 円二色性(CD)
4. 核磁気共鳴分光法(NMR)
5. ガスクロマトグラフィー(GC)
6. 共焦点レーザー顕微鏡法(CLSM)
7. 屈折率測定
8. 蛍光顕微鏡法
9. 蛍光分光法
10. ゲル濾過クロマトグラフィー(GPC)
11. ゲル電気泳動
12. 原子間力顕微鏡法(AFM)
13. 元素分析(EA)
14. 光学顕微鏡法
15. 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)
16. サイズ排除クロマトグラフィー(SEC)
17. 材料力学試験
18. 紫外・可視分光法(UV-VIS)
19. 示差走査熱量測定(DSC)
20. 示差熱分析(TG-DTA)
21. 質量分析法(MS)
22. 水晶振動子マイクロバランス法(QCM)
23. 接触角測定
24. 走査型電子顕微鏡法(SEM)
25. 中性子散乱法
26. 電気泳動光散乱法(ELS)
27. 等温滴定熱測定(ITC)
28. 透過型電子顕微鏡法(TEM)
29. 動的粘弾性測定(DMA)
30. 熱重量分析(TGA)
31. 熱分析
32. 光散乱法(LS)
33. 表面張力測定
34. 表面プラズモン共鳴法(SPR)
35. 表面力測定
36. フローサイトメトリー
37. フーリエ変換赤外分光法(FT-IR)
38. 分光エリプソメトリー
39. 偏光顕微鏡法
40. ラマン分光

【計算科学手法一覧】

1. 加工プロセス計算
2. 高分子のデータ科学
3. 粗視化計算
4. 分子動力学計算
5. 量子化学計算

【年間掲載料金】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分析法/計算科学手法の掲載件数 | 法人会員 | 非会員 |
| 1件 | 40,000円 | 50,000円 |
| 2件 | 80,000円 | 100,000円 |
| 3件 | 120,000円 | 150,000円 |
| 4件 | （1割引） 144,000円 | （0.5割引） 190,000円 |
| 5件 | （1割引） 180,000円 | （0.5割引） 237,500円 |
| 6件 | （2割引） 192,000円 | （1割引） 270,000円 |
| 7件 | （2割引） 224,000円 | （1割引） 315,000円 |
| 8件 | （3割引） 224,000円 | （1.5割引） 340,000円 |
| 9件 | （3割引） 252,000円 | （1.5割引） 382,500円 |
| 10件以上 | （4割引）  40,000円×測定法件数×0.6 | （2割引）  50,000円×分析法数×0.8 |

**【新規】　装置やソフト/ツールソリューションの（メーカー名）記載申込書**

|  |  |
| --- | --- |
| 分析法/計算科学手法名  （右の**分析法**や**計算科学手法**(ソフトウェア、ツール、ソリューションベンダー)より、不必要なものを**削除**してください） | X線光電子分光法(XPS)  X線散乱法・X線回折法  円二色性(CD)  核磁気共鳴分光法(NMR)  ガスクロマトグラフィー(GC)  共焦点レーザー顕微鏡法(CLSM)  屈折率測定  蛍光顕微鏡法  蛍光分光法  ゲル濾過クロマトグラフィー(GPC)  ゲル電気泳動  原子間力顕微鏡法(AFM)  元素分析(EA)  光学顕微鏡法  高速液体クロマトグラフィー(HPLC)  サイズ排除クロマトグラフィー(SEC)  材料力学試験  紫外・可視分光法(UV-VIS)  示差走査熱量測定(DSC)  示差熱分析(TG-DTA)  質量分析法(MS)  水晶振動子マイクロバランス法(QCM)  接触角測定  走査型電子顕微鏡法(SEM)  中性子散乱法  電気泳動光散乱法(ELS)  等温滴定熱測定(ITC)  透過型電子顕微鏡法(TEM)  動的粘弾性測定(DMA)  熱重量分析(TGA)  熱分析  光散乱法(LS)  表面張力測定  表面プラズモン共鳴法(SPR)  表面力測定  フローサイトメトリー  フーリエ変換赤外分光法(FT-IR)  分光エリプソメトリー  偏光顕微鏡法  ラマン分光法  加工プロセス計算  高分子のデータ科学  粗視化計算  分子動力学計算  量子化学計算 |
| 連絡先 | |
| 企業名 |  |
| 担当者名 |  |
| 部署 |  |
| 住所 | 〒 |
| Tel |  |
| Fax |  |
| Email |  |
| 有償広告掲載 | □ 希望する □ 希望しない |
| 無償メーカー名掲載 | □ 許可する □ 許可しない |
| 広告内容に関する責任について | 「広告内容について高分子学会の関与はなく、責任を持つものではない」ことを  □ 了承する □ 了承しない |
| 【有償広告掲載希望の場合の情報記入】 | 学会ホームページ掲載に際して、希望するバナー様式をチェックして下さい。  （学会フォーマットバナー（①）に入力して頂いた場合、（①欄）ご入力いただいた情報からバナーを制作いたしますが、レイアウト等は学会にお任せ下さい）  □ ①学会フォーマットバナーの制作希望 □ ②貴社独自バナー ※学会フォーマットバナーサイズは800px×280pxです。 |
| 【①学会フォーマットバナー制作希望の場合のみ記入】（学会ホームページ様式バナー情報入力） | |
| 製品名 | 貴社の製品名または製品シリーズ名をご記入下さい。 |
| 装置画像 | ここに貼り付けるか、別ファイルで画像をお送りください。 |
| URL | 貴社の製品または製品シリーズのリンク先アドレスをご記入下さい。 |
| 特徴  （100字以下） | 貴社製品の特徴やアピールポイントを簡潔にご記入ください。 |
| 実施例・プロトコルについて※有償広告掲載を希望された企業様は1装置1件のみ無料掲載可 | |
| 分析実施例やプロトコルの掲載 | □ 希望する □ 希望しない |
| 製品名 |  |
| 実施例・プロトコルのタイトル |  |
| プロトコル情報 | 分析実施例やプロトコルのリンク先URLもしくはpdfをお知らせ下さい。 |
|  |  |
| 【②貴社独自バナー使用希望の場合のみ記入】 | |
| 貴社独自バナー画像 | バナーサイズは800px×280px以内でご用意ください |
| URL | 貴社の製品または製品シリーズに関連するバナーのリンク先をご記入下さい。 |
| 実施例・プロトコルについて※有償広告掲載を希望された企業様は1装置1件のみ無料掲載可 | |
| 分析実施例やプロトコルの掲載 | □ 希望する □ 希望しない |
| 製品名 |  |
| 実施例・プロトコルのタイトル |  |
| プロトコル情報 | 分析実施例やプロトコルのリンク先URLもしくはpdfをお知らせ下さい。 |

申込年月日：2024年〇月〇日

【参考資料1】

＜各分析法・計算科学手法執筆者リスト＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象 | 分析法・計算科学手法 | 執筆者 |
| 分子構造の分析法 | 核磁気共鳴分光法(NMR) | 梶　弘典（京都大学） |
| 元素分析(EA) | 松本浩一（近畿大学） |
| 質量分析法(MS) | 大谷肇（名古屋工業大学） |
| 紫外・可視分光法(UV-VIS) | 町田真二郎（京都工芸繊維大学） |
| フーリエ変換赤外分光法(FT-IR) | 長谷川健（京都大学） |
| 蛍光分光法 | 蛭田勇樹（慶應義塾大学） |
| ラマン分光法 | 新田晃平・比江嶋祐介（金沢大学） |
| 円二色性(CD) | 前田勝浩・西村達也（金沢大学） |
| 光散乱法(LS) | 寺尾　憲（大阪大学） |
| ガスクロマトグラフィー(GC) | 石田康行（中部大学） |
| 表面構造の分析法 | 接触角測定 | 宮田隆志（関西大学） |
| X線光電子分光法(XPS) | 田中敬二（九州大学） |
| フーリエ変換赤外分光法(FT-IR) | 長谷川健（京都大学） |
| 走査型電子顕微鏡法(SEM) | 藤ヶ谷剛彦（九州大学） |
| 原子間力顕微鏡法(AFM) | 内橋貴之（名古屋大学） |
| 分光エリプソメトリー | 横山大輔（山形大学） |
| 電気泳動光散乱法(ELS) | 鈴木大介（信州大学） |
| 表面張力測定 | 遊佐真一（兵庫県立大学） |
| 表面力測定（準備中） | 予定（栗原和枝（東北大学）） |
| 内部構造の分析法 | 光学顕微鏡法、蛍光顕微鏡法 | 柿木佐知朗 （関西大学） |
| 偏光顕微鏡法 | 岸野真之・宍戸　厚（東京工業大学） |
| 透過型電子顕微鏡法(TEM) | 陣内浩司（東北大学） |
| 走査型電子顕微鏡法(SEM) | 藤ヶ谷剛彦（九州大学） |
| 共焦点レーザー顕微鏡法(CLSM) | 松崎典弥（大阪大学） |
| X線散乱法・X線回折法 | 小川紘樹（京都大学） |
| 中性子散乱法 | 山本勝宏 （名古屋工業大学） |
| 分離・精製方法 | 高速液体クロマトグラフィー(HPLC) | 中村　洋（京都大学） |
| ゲル濾過クロマトグラフィー(GPC)、サイズ排除クロマトグラフィー(SEC) | 石曽根隆（東京工業大学） |
| ゲル電気泳動 | 嶋田直彦（東京工業大学） |
| 定量分析法 | 紫外・可視分光法(UV-VIS) | 町田真二郎（京都工芸繊維大学） |
| 蛍光分光法 | 蛭田勇樹（慶應義塾大学） |
| 高速液体クロマトグラフィー(HPLC) | 中村　洋（京都大学） |
| ゲル濾過クロマトグラフィー(GPC)、サイズ排除クロマトグラフィー(SEC) | 石曽根隆（東京工業大学） |
| ガスクロマトグラフィー(GC) | 石田康行（中部大学） |
| 物性評価法 | 分光エリプソメトリー | 横山大輔（山形大学） |
| 熱分析（熱重量分析(TGA)、示差熱分析(TG-DTA)、示差走査熱量測定(DSC)、等） | 斎藤　拓（東京農工大学） |
| 材料力学試験 | 西野　孝・松本拓也（神戸大学） |
| 動的粘弾性測定(DMA) | 佐藤貴風・古川英光（山形大学） |
| 屈折率測定 | 安藤慎治（東京工業大学） |
| 原子間力顕微鏡法(AFM) | 内橋貴之（名古屋大学） |
| 表面張力測定 | 遊佐真一（兵庫県立大学） |
| 表面力測定（準備中） | 予定（栗原和枝（東北大学）） |
| 生体関連分析法 | 光学顕微鏡法、蛍光顕微鏡法 | 柿木佐知朗 （関西大学） |
| 共焦点レーザー顕微鏡法(CLSM) | 松崎典弥（大阪大学） |
| 表面プラズモン共鳴法(SPR) | 有馬祐介・玉田　薫（九州大学） |
| 水晶振動子マイクロバランス法(QCM) | 星野　友（九州大学） |
| 等温滴定熱測定(ITC) | 織田昌幸（京都府立大学） |
| フローサイトメトリー | 山本雅哉（東北大学） |
| 計算科学 | 量子化学計算 | 折本裕一（九州大学） |
| 分子動力学計算 | 藤本和士（関西大学） |
| 粗視化計算 | Sathish SUKUMARA・滝本淳一（山形大学） |
| 加工プロセス計算 | 瀬戸雅宏・山部　昌（金沢工業大学） |
| 高分子のデータ科学 | 林　慶浩（統計数理研究所） |